

2017 Spring&Summer Bishu Material Exhibition

開催概要

- (1) 名 称 2017 Spring&Summer Bishu Material Exhibition (BME)
(2017年春夏物)
- (2) 会 期 平成28年4月19日(火) 13:00-18:00
20日(水) 9:30-18:00
21日(木) 9:30-17:00
- (3) 会 場 TEPIA 3F エキシビジョンホール
東京都港区北青山2-8-44
電話 03-5474-6107・6108・6109 (展示会場直通・会期中のみ)
- (4) 主 催 (公財) 一宮地場産業ファッションデザインセンター
- (5) 目 的
尾州地域は、世界でも有数の毛織物産地として栄えてきたが、長らくの景気の低迷により縮小を続けてきた。しかしながらクールジャパンやJ∞クオリティーなどの政策により、メイド・イン・ジャパンが見直され、尾州産地の特長を生かした高付加価値のものづくりを一層推進していくことが求められている。従来から試みる海外市場への尾州産素材の発信、販売促進に加え、本展示会では、最新のファッショントレンドをとらえた、付加価値の高い魅力的なものづくりを強みに、回帰基調にある国内市場において、尾州産地の力を結集して販路開拓を目指す。
「オール尾州」で結束したプロジェクトチーム16社が、トレンドコンセプトや消費者ニーズを共有し、それぞれの強みを活かして開発したクオリティーの高い素材を広く発信することで、新規顧客の掘り起こしを図るとともに既存顧客との関係をより強固なものとする。更には、本展示会を通じて、尾州産地全体をアピールし、産地イメージの高揚に努め、出展企業だけでなく産地全体として更なる顧客獲得を目指していく。
- (6) 事業内容
展示会場の中央部分に位置するインデックスコーナーでは、各社が共有するネリーロディ社のトレンドコンセプトを基に開発した素材約170点の展示に加え、その一部をゲーム化した製品を展示することで、アパレル・小売等に尾州の魅力を発信する。インデックスコーナーを取り囲む形で設置された小間ブース内では、各出展企業が来場者と個別の展示商談会を実施する。
- (7) 出展企業 16社
- (8) 入 場 料 無 料 (ただし、展示会出展企業と同業者となる、織物・編物製造事業者の入場はご遠慮願います。)

(9) 併 催 JAPAN TEXTILE CONTEST2015 優秀作品展

(10) 問い合わせ先

(公財) 一宮地場産業ファッションデザインセンター

一宮市大和町馬引字南正亀4-1

TEL : 0586-46-1361 FAX : 0586-44-7455

平成28年4月13日

Bishu Material Exhibition

NEWS No. 1

4月19, 20, 21日、TEPIAで開催

シーズン	2017 春夏
会 期	平成28年4月 19日(13:00-18:00)、20日(9:30-18:00)、21日(9:30-17:00)
会 場	TEPIA 3階エキシビションホール

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、「FDC」）は4月19日から3日間、「2017春夏Bishu Material Exhibition（BME）」を東京都港区北青山のTEPIA3階エキシビションホールで開催する。この展示会には尾州産地の素材メーカー16社が参加、2017年春夏物の新作約1,500点の生地を出展。中央のインデックスコーナーでは、FDCが提携しているパリのトレンド発信企業のネリーロディ社の情報を基に出展企業が開発した生地約170点とガーメント（製品）16点を3テーマに分けて展示する。

「Bishu Material Exhibition」としては今回が12回目となり、前身のジョイント・尾州（JB）東京展を含めると25回目の開催となる。

出展各社の主力素材は別表のとおり。リネンや和紙糸となど清涼感ある素材を中心に、綿や化学繊維との交織など多様な素材使いが特徴で、それを各社が得意とする織物やニットに落とし込んだバラエティー豊かなものとなっている。

また、出展各社に対して事前に実施したアンケートでは、同シーズンに対する販売計画（前年同シーズン金額比）はプラスが11社と回答、平均10%強のプラスとなっている。個別意見では、前年の2016春夏シーズンや直近の秋冬シーズンのマイナスをプラスに転じたいという意見が目立った。また、展示会にはアパレルや小売との取引強化や尾州産地のアピールを期待する声が聞かれた。

今回の展示会ではBMEの他に、ジャパン・テキスタイル・コンテスト2015優秀作品展を併催。グランプリ以下21点の入賞作品のほか、（一社）日本アパレル・ファッション産業協会との協業で、応募作品を元にデザイナーが製作した衣装も展示する。

<参考>

○前回春夏展3日間の来場者数1,648名

アパレル	660名	40.0%
小売	74名	4.5%
商社・服地卸	680名	41.3%
その他	234名	14.2%

<本資料のお問い合わせ>

(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター

電話：0586-46-1361

：03-5474-6107 (会期中)

No.	企業名	主力素材	PR
1	岩田健毛織株式会社 (羽島市)	リネンスラブ、アラン/Pe、フリクションの Top シリーズ	差別化商品企画開発。
		ファンシーツイード	
		ギマ、ローシルク、リリアン、ウレタン加工系	
2	鈴憲毛織株式会社 (一宮市)	Fancy tweed	弊社の得意とするファンシーツイードの上品で控え目な光沢と深味の有るシネ調表現。 ジャカードの織物とニットで立体的な凹凸感の素材を企画しました。
		Polyester/Rayon	
		ジャカードバリエーション	
3	株式会社ソージェイテック (安八郡輪之内町)	<アリスト><エルフィン>オリジナル 綿ナイロン系 ニット/織物	<アリスト><エルフィン><クリスプ>のオリジナル系軸を構え、ニュアンスのあるニット・織物の風合いを提案いたします。
		<クリスプ>オリジナル リネンナイロン系 ニット/織物	
		RY フィラメント 織物	
4	長大株式会社 (一宮市)	ウールストレッチサージ	メンズライクな物作りを心掛けています。海外にも通用する Made in JAPAN を追求します。
		綿シルクデニム	
		ポリエステル強撚ツイル	
5	中伝毛織株式会社 (一宮市)	長短複合、異素材の交撚 or 交織	先染を中心にアウター、ボトムの商品バリエーションの充実をはかる。 ハード面でもさらなる進化をプラスし、長短複合など、中伝オリジナルを提案します。
		quarter(7G/28G)	
		KNEAVE(SRY)	
6	西川毛織株式会社 (名古屋市)	得意のモヘア混、和紙素材	モヘア、フレンチウール、リネンなどをふんだんに使用した高級天然素材。軽さのあるサマーツイード、ワッシャーストレッチなどバラエティーな商品構成を見て頂けます。
		軽量、光沢感のある後加工素材	
		バラエティーに富んだストレッチ素材	
7	日本エース株式会社 (一宮市)	フィラメントとスパン糸の交織	麻や綿の天然素材を中心としたナチュラルな素材と機能性を持った合成繊維を巧みに織り交ぜ、尾州産地特有のやわらかい風合いを上品に表現し、お客様のニーズ、ファッション界のトレンドの先端を担う生地を造り続けます。
		化繊との麻混素材	
		レーヨン混ストレッチ	
8	林実業株式会社 (一宮市)	カラミ織素材	様々なツイード素材や進化したカラミ織素材を提案します。
		マザーニーズ用のツイード	
		ファンシーツイード	
9	株式会社ヒラノ (一宮市)	グラデーションスラブインレージャカード(ニット)	複合素材による細番手二重織、ファンシーヤーン織物ジャカード、リネン 100%ツイードにニットによるリップルジャカードからインレージャカード、ダブルフェイスニットと織物とニットのコラボでトータルコーディネートを目指しています。
		和紙混織物	
		表情ある織組織	
10	ファインテキスタイル株式会社 (羽島市)	リネン使いのバリエーション	リネン、和紙等の異素材をバリエーション豊かな色・柄で交織して、表情のある、手触りの良い生地に仕上げました。 もちろん、各色在庫反のある商品も多数取扱え、見本や小ロットは即応できます。
		和紙混織物	
		表情ある織組織	
11	みづほ興業株式会社 (一宮市)	Re・Born シリーズ(紙)	自社独自の機械によるオリジナル、加工商品と素材提案
		特殊加工(箔)	
		ハリ感をもたせる加工生地	

No.	企業名	主力素材	PR
12	三星毛糸(株) (羽島市)	強撚コットン高密織物	特殊なコットンを中心とし、後加工で変化を施した素材を多くそろえています。また、17SS としてのカラーも意識したコレクションです。
		ウール/ポリエステルウール/ポリエステル薄手織物	
		マスターシードコットンニット	
13	宮田毛織工業(株) (一宮市)	最高級グレード綿糸「メサヴェルディー」シリーズ	40G から8G までの多種多様な機種で薄手から厚手まで幅広く春夏物を提案致します。
		「MK+」シルクなどの高級素材	
		キュブラやトリアセ等のオンリーワン素材	
14	虫文毛織(株) (一宮市)	ネップ混の素材	糸や織りでこだわりの有るツイード、複合素材を展開します。
		ギマ加工糸使い	
		フリクション糸使い	
15	森織物(資) (一宮市)	綿スラブ/アクリル引きそろえカバーリングヤーン使い	各種スラブヤーン使いの表面感のある素材を出展予定です。
		和紙スリムヤーン使い	
		コンパクトな二重織	
16	渡六毛織(株) (羽島市)	薄手で織組織による表情をつけた素材	今まで好評だった素材のアップグレードと新しくシャツワンピースなどに使える肉感の素材のバリエーションを増やしました。
		ポリエステルツイード	
		パネルボーダー	

平成28年4月26日

Bishu Material Exhibition

NEWS No. 5(最終)

会期3日間で1,651名が来場、1社平均933点のサンプルリクエスト

シーズン	2017 春夏
会期	平成28年4月 19日(13:00-18:00)、20日(9:30-18:00)、21日(9:30-17:00)
会場	TEPIA 3Fエキシビジョンホール

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター(以下、「FDC」)は4月19日から21日までの3日間、「2017 Spring & Summer Bishu Material Exhibition(以下、「BME」)」を東京都港区北青山のTEPIAで開催した。12回目となる今回のBMEには尾州産地のテキスタイルメーカー16社が参加し、1,500点の新作と、FDCが提携しているネリーロディ社のトレンド情報を基に製作した開発素材183点を展示して商談を進めた。その結果、会期中の来場者は1,651名となり、前回春夏展の来場者(1,648名)から横ばいとなった。また出展16社の合計サンプルリクエスト点数は14,935点で、前回春夏展(1年前)の15,999点を下回り、社数でも2,199社となり、前回春夏展の2,384社といずれも1割弱下回る結果となった。

来場者内訳ではアパレルの来場者が616名で前回春夏展の660名から減少し、割合でも2.7%減少した。代わりに商社・問屋が748名で4.0%増加した。

アパレルの来場者やサンプルリクエストが減少した理由については、百貨店での衣料品の販売が直近の3月の売上高で前年同月比6.7%減と低迷していることなど、売場の不振が原因の一つと考えられる。

サンプルリクエスト数は3日間で延べ2,199社から14,935点に達し、出展企業1社平均では137社から933点となった。素材では綿やリネン、和紙といった天然素材、カラーでもパステル系や明るい色など春夏らしい商品が人気傾向となっている一方、各社ごとに見ると各社の特徴を活かした商品が関心素材となっている。前述の売場の不振といった外的環境の中、来場者数やサンプルリクエスト数で一定の成果を挙げていることは、展示会開催を継続し、それに向けて出展各社が素材開発を進めてきた成果であると言える。

来場者の業種別内訳や来場者を対象にしたアンケート結果は次ページ以降の通り。

主催者のFDCは会期中に来場者アンケートを実施（回答数 527 回収率 31.9%）。結果は以下の通り。（3日間計：確報値）

＜来場目的＞		＜関心素材＞	
トレンド把握	56.6%	あった	91.8%
商談	35.4%	なかった	8.2%
その他	8.0%		
＜尾州産地展への来場回数＞		＜商談＞	
初めて	19.3%	あった	56.1%
2－5回目	32.8%	なかった	43.9%
6－10回目	24.1%		
11回目以上	23.8%	＜サンプル請求＞	
		会場で請求した	56.2%
		後から請求する	21.3%
		しない	22.5%
＜来場契機＞			
FDCのDM	45.3%		
出展企業のDM	39.2%		
新聞記事	2.5%		
新聞広告	0.9%		
ホームページ	0.7%		
FDCのFacebook	0.4%		
SNS	1.2%		
その他	9.8%		

【以下、展示会各種数値】

＜第12回 2017 SS BME の来場者の内訳＞

	アパレル	小売	商社・問屋	その他	計
1日目	143名	21名	160名	37名	361名
2日目	233名	28名	325名	81名	667名
3日目	240名	18名	263名	102名	623名
計	616名 (37.3%)	67名 (4.1%)	748名 (45.3%)	220名 (13.3%)	1,651名 (100.0%)

(参考) 過去の来場者内訳 (カッコ内は構成比)

	アパレル	小売	商社・問屋	その他	計
第1回(AW)	520名(38.7%)	41名(3.0%)	576名(42.8%)	208名(15.5%)	1,345名
第2回(SS)	391名(35.4%)	52名(4.7%)	527名(47.8%)	134名(12.1%)	1,104名
第3回(AW)	451名(35.3%)	64名(5.0%)	562名(43.9%)	202名(15.8%)	1,279名
第4回(SS)	520名(40.1%)	85名(6.5%)	512名(39.5%)	181名(13.9%)	1,298名
第5回(AW)	452名(32.5%)	64名(4.6%)	646名(46.4%)	230名(16.5%)	1,392名
第6回(SS)	508名(36.2%)	60名(4.3%)	624名(44.5%)	211名(15.0%)	1,403名
第7回(AW)	575名(35.9%)	69名(4.3%)	718名(44.8%)	241名(15.0%)	1,603名
第8回(SS)	525名(33.5%)	67名(4.3%)	768名(49.0%)	206名(13.2%)	1,566名
第9回(AW)	609名(37.5%)	61名(3.8%)	731名(44.9%)	225名(13.8%)	1,626名
第10回(SS)	660名(40.0%)	74名(4.5%)	680名(41.3%)	234名(14.2%)	1,648名
第11回(AW)	829名(36.4%)	123名(5.4%)	1,013名(44.4%)	314名(13.8%)	2,279名

<第12回 BME のサンプルリクエスト状況>

	アパレル		小売		商社・問屋		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1日目	192	1,184	7	34	268	1,710	3	12	470	2,940
2日目	342	2,457	40	232	482	3,526	11	91	875	6,306
3日目	419	2,964	28	143	371	2,351	36	231	854	5,689
計	953	6,605	75	409	1,121	7,587	50	334	2,199	14,935

(参考) 過去のサンプルリクエスト (SR) 数推移

AW	出展者数	来場者数	SR数	SS	出展者数	来場者数	SR数
第1回	21社	1,345名	14,021点	第2回	19社	1,104名	8,967点
第3回	17社	1,279名	11,495点	第4回	15社	1,298名	10,110点
第5回	16社	1,392名	11,090点	第6回	16社	1,403名	11,190点
第7回	16社	1,603名	15,010点	第8回	15社	1,566名	14,356点
第9回	15社	1,626名	16,961点	第10回	15社	1,648名	15,999点
第11回	16社	2,384名	16,878点				

この件に対するお問い合わせはFDCまで。(0586-46-1361)